

平成24年奈良県地価調査 結果概要

本県の地価は、依然として下落基調にあるが、下落率は縮小し、全用途（林地除く。）の対前年平均変動率が▲1.6%（昨年▲2.4%）となった。

〈住宅地〉

- 平均では、▲1.4%（昨年▲2.2%）となり、4年連続の下落となった。
- 昨年からの継続調査地点（166地点）のうち、10地点で上昇、16地点で横ばい、140地点で下落となった。
- 奈良市、橿原市、生駒市、香芝市で大阪、京都への利便性や住環境良好な住宅地を中心に、地価は上昇、横ばいとなった。

〈商業地〉

- 平均では、▲1.7%（昨年▲2.7%）となり、4年連続の下落となった。
- 昨年からの継続調査地点（38地点）のうち、2地点で上昇、6地点で横ばい、30地点で下落となった。
- 県南部商業地は、駅前商店街、路線商業地とも依然下落率が大きく、回復顕著な県北部との地域間格差が拡大している。